

2013年産中国パンプキンシードの市況と弊社取扱い商品の品種変更

中国産パンプキンシードは、東北産、西北産の2大産地の他、西南産がよく知られており、各産地の状況は以下の通りとなります。

東北産(黒竜江省、吉林省)

中国最大の生産地ですが、他作物への転作による作付面積の減少と天候不順により、2013年産の収穫量は約2万トン(前年比45%)と、前年比で約55%の減産になる見込みです。このため、現地価格は前年比で約15%値上がりし、高値で推移しています。

西北産(内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区)

西北産の収穫量は約5万4,000トンと見込まれ、前年比で約230%の増産予想となっています。増産の理由としては、産地の天候が概ね良好であった状況と、他品種に比べ利益率が高く、当品種の作付面積が急増した結果によるものと言われています。

弊社取扱いの白雪姫種も増産が見込まれており、品質も良好である状況から、外観が重視される中国国内の殻付スナック向けとして需要が増大しています。また、最大産地の東北産の大幅減産により西北産への引き合いが集中した事から、増産にもかかわらず現地相場は昨年比で20%以上値上がりしています。

西南産(雲南省)

作柄は平年並みですが、収穫量は1,300トン程度と、東北及び西北産に比べると量が少ない事から、ここ3年、現地相場は高止まりした状況が続いています。

現在、弊社が取り扱っています西北産白雪姫種は、上述の通り中国国内での需要急増により大幅な値上がりとなり、数量の確保も困難な状況となっています。このため、今期はより安定供給が見込める西北産光板種の取り扱いを開始する事になりました。白雪姫種と比較すると、粒サイズにややばらつきが見られ、小粒傾向となりますが、色合いと風味は白雪姫種に似通っています。価格につきましても、価格高騰と円安の影響により値上がりとはなりますが、白雪姫種に比べると現地価格は約10%程度安価となっています。詳細につきましては、弊社営業担当者よりご案内させていただきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

中国パンプキンシードの主な産地と収穫量

(単位:トン)

産地	地域	品種	2013年収穫予想量	2012年収穫量
東北産	黒龍江省、吉林省他	東北光板種、皮無品種他	20,000(前年比約 55%減)	45,000
西北産	内モンゴル自治区他	白雪姫種、西北光板種他	54,000(前年比約230%増)	23,000
西南産	雲南省	西南光板種	1,300(前年並み)	1,300



西北光板種



西北白雪姫種